

中国五大学結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

9/5～6 に鳥取県民体育館において、中国五大学が開催されました。

広島大学の結果は、以下のとおりです。

(男子)

vs 山口大学

○2-0 (25-19、25-23)

vs 島根大学

○2-0 (26-24、25-20)

vs 岡山大学

○2-0 (25-13、25-21)

vs 鳥取大学

○2-0 (25-21、25-22)

(女子)

vs 山口大学

○2-1 (25-20、19-25、25-18)

vs 島根大学

●0-2 (16-25、19-25)

vs 岡山大学

○2-1 (25-20、22-25、25-15)

vs 鳥取大学

○2-0 (25-11、25-20)

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

男子はメンバーを入れ替えながら、チームと選手それぞれに収穫と課題が出た内容のある 4

試合だったと思います。サーブミスが多かったことは、ラリーの機会が減って自分も味方も相手も成長するきっかけを失ってしまうので残念でしたが、これまでは4年生が中心だったと言うか、4年生しか目立っていなかったチームから、4年生がサポートするポジションをきちんと認識し、また、自分たちが引っ張っていくという3年生以下の強い意志が推進力となって、チームの印象が大きく変わったことは非常に驚かされました。4年生のような中心世代がいると、大体は世代交代が遅れて新チームを作るのに時間がかかるものですが、この時期に新しい世代が生き生きと活躍できることは、まずは4年生が世代として大人な考え方を持っていることの証だと思っています。引退までのタイムリミットが見えてきて、時期的には目の前のことに焦ったり熱くなったりしがちですが、自分たちがいなくなった後のことまで考えて、一步引いて上手くいかないことも素直に受け入れて、次頑張ろう、と後輩たちに声をかけられる。五大学だけで見るともっと点差を離れた勝ち方があったのかもしれませんが、こうした姿勢は長いスパンで見るとチームにとってもものすごくプラスで、いつかは伝統として受け継がれていくものにまでなるかもしれません。4年生が当たり前にやっていることは、いざ自分が4年生になったときには到底できないことが多くありますので、新チームを作るメンバーは、残り3か月で4年生の背中からたくさんのことを学んで欲しいと思います。

その新チームからは、まずは松本（3年・兵庫高校）の存在感なしには語れません。松本がいるからこそチームが崩れない土台が出来ており、ただそれは決して安定感のあるレシーブの話ではなく、的確で分かりやすい指示がチームに伝わる声となっていて、次に6人全員でやることが明確になっていることが大きいと感じています。個人の技術としても、速さのある攻撃に磨きがかかったことで緩急をつけたスパイクが効果的になっており、プレー面でもボールアウト時の面でもできることが誰よりも増えている状況です。秋リーグでは間違いなくチームの中心となってくれる一方で、体への負担が非常に大きくなると思いますので、チーム全体でできるだけ負荷を分散できるようなチーム作りを進めて欲しいと思います。また、セッターの新谷（2年・広島城北高校）と丹羽（3年・広島・盈進高校）は、それぞれの持ち味を安定して発揮できるようになり、チームとしては悪い流れを変えるためにセッターを変えるようなマイナスな考え方ではなく、良い流れをさらに良くするためにセッターを入れ替えるプラスな起用法ができるレベルにあると感じています。スタメン一人の座を奪い合うのではなく、ベンチ入りできるメンバー枠を最大限生かすことが大事だと思いますので、コート外の時間も冷静に試合を見る時間として活用し、お互いに気付きを伝えあって勝利に導いて欲しいと思います。最後に、1年生では川村（東京・日本大学第三高校）が精神面で逞しくなり、悪い流れを自らの力で切った場面はとても頼もしく感じました。自分やチームの状態が良いときに良いプレーができる、声が出せるプレーヤーはいくらでもいますが、良くない状況でも声をかけて打開策を見い出せるプレーヤーはほんのわずかしきません。でも、本当に応援されるチームや選手と言うのは、良くない状況でも誰

かのせいにはせず、前を向いて必死に頑張るからこそ人の心を打つものです。チームの声が止まったことを感じ、そして自らの声と足でその状況を変えるところまで出来た川村。秋リーグで広大が広島経済に 2 勝すると思っている人は今誰もいないと思いますが、たくさんの人が驚くような結果を残せるようにこれからの 1 か月を過ごして欲しいと思います。

一方、女子はそもそもの話ですが、今、バレーボールが楽しいでしょうか。結果としては 2 位ですが、何も知らない人がバツと試合を見て応援したくなるのは岡山大学や鳥取大学の方で、その点では五大学中 5 位と感じました。今、バレーボールが楽しいと思っているのであればそれは心配で、楽しくないと思っているのであれば、一応まだ良くなる可能性があるかなと言ったところです。残り 1 か月を切った秋リーグに向けては絶望的な状況で、島根大学の 1 セット目でいきなり 3-13 となったこともおそらく忘れ去られており、現状では良くても 2 部 4 位が精一杯だろうと思います。練習は、全くしていないか、やり方が間違っていることに気が付いていないかのどちらかだと思いますが、とにかく一人一人の思っていることとやっていることのギャップが大きすぎて、応援されるチームでもなければ勝てるチームでもありません。春から上手くなったと感じた選手は一人もおらず、むしろ 1 年生の頃から何も変わっていない選手の方が目立ちました。東（4 年・愛媛・宇和島東高校）が 4 年間で懸けて作りたかったチームが本当に今のチームなのであれば非常に残念ですが、もしそうでないとしても今から秋リーグの結果を変えるのはほぼ不可能に近いことをまずは理解しないとはいけません。一人一人の認識のずれを解消する作業と言うのはとてつもなく時間を要することで、自分が今までやってきたこと、自分の考え方が間違っていることを受け入れるのは生半可な覚悟でできるものではありません。危機的な状況なのに危機感が全くないと、当然ながら何も起きないし何も始まらず、気付いた頃にはもうバレーボールが出来ない状況になってしまうことを、近い未来に起こることとして真剣に考えないといけません。

女子は男子と比べても圧倒的に人数が少なく、今大会も選手は 8 人での帯同でしたが、タイムアウトやセット間で東以外に発信する人がいないことが今のチーム状況を何よりも物語っていると思います。人数が少ない分、男子よりも下級生を中心としたチーム作りが本来はしやすいはずですが、こうしようと提案する流れが一か所からの一方通行で、これではチームの可能性が一人に依存してしまいます。例えば、この五大学ではスパイカー 5 人にこだわらず、レフトとセンターの 2 枚でコンビを作ろうとか、センターが走ったりレフトが回ったりして課題のライトをしっかり使おうとか、リベロなしで光本（2 年・岡山城東高校）をフロントで起用しようとか、西岡（2 年・兵庫・姫路高校）がバックアタックを打てるポジショニングをみんなで考えようとか、これぐらいの発想は 8 人もいれば出てきて当然なところ、オープンバレーをただ単に 4 試合繰り返すと言う時間の使い方になってしまうのです。レシーブでも一人のボールを複数人で取りに行ったり、逆に誰も取りに行かなかった

り、一つ一つのラリーに目的がない典型的なチームとなっていて、一人一人が持っているポテンシャルと結果がかけ離れており、見ていてあまりにも残念です。練習メニューを考えることが4年生の役割ではなく、一人一人の良いところを最大限発揮させることが最上級生の最も大切な役割です。秋リーグまで1か月を切った今、チームの良いところも一人一人の良いところも何一つ見えません。ただ、秋リーグまでの時間は全チーム平等です。秋リーグの結果は、その時間の使い方によって決まることだけは間違いありません。

ここで、ご報告できていなかった上半期の結果をお伝えします。

国体広島県予選（女子）

1 回戦 vs 大野石油広島オイラーズ

●0-2（10-25、13-25）

西日本インカレ（男子）

予選 1 回戦 vs 大阪教育大学

○2-1（25-19、21-25、25-14）

決勝 1 回戦 vs 明治国際医療大学

○2-1（23-25、25-23、25-20）

決勝 2 回戦 vs 長崎国際大学

●0-2（19-25、17-25）

西日本インカレ（女子）

予選 1 回戦 vs 松山東雲女子大学

●0-2（8-25、14-25）

予選 2 回戦 vs 皇學館大学

●0-2（14-25、17-25）

天皇杯広島県予選（男子）

（A チーム）

2 回戦 vs BLAST

●1-2（25-16、21-25、20-25）

（B チーム）

1 回戦 vs 山陽高校 A

○2-0（25-6、25-11）

2 回戦 vs 瀬戸内高校 C

○2-0（25-13、25-15）

3 回戦 vs 崇徳高校 A

●1-2 (25-23、19-25、21-25)

皇后杯広島県予選 (女子)

2 回戦 vs 庄原排球部

○2-0 (25-8、25-8)

3 回戦 vs 銀河学院高校

●0-2 (14-25、15-25)

中国ビーチバレー (男子)

優 勝 広島大学 (水谷・山下) ペア

準優勝 広島大学 (日南・新谷) ペア

予選敗退 広島大学 (廣瀬・三宅) ペア

中国ビーチバレー (女子)

第4位 広島大学 (東・西岡) ペア

全日本ビーチ (男子)

水谷・山下ペア

1 回戦 vs 帝京平成大学ペア

●0-2 (14-21、18-21)

全日本ビーチ (女子)

東・西岡ペア

1 回戦 vs 日本体育大学ペア

●0-2 (13-21、7-21)

秋リーグは、10 月 4、5 日に 1 部男女が広島大学で、2 部男女が周南公立大学で開幕します。

下半期も引き続きよろしくお願いいたします。